

## ■ 地域活性化支援の取組状況

### ● 「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣

#### ～ボランティアを始めて23年～

阪神淡路大震災を契機に、職員教育の一環として開始したボランティア活動を、拡大・継続して行うため、平成12年1月に「NPO法人但陽ボランティアセンター」を設立しました。

当金庫から、毎日数名の職員を但陽ボランティアセンターに派遣し、リフト付福祉車両で、車いすを使用されている方々への「移送サービス」等の支援活動を続けています。



### ● 地域における地方創生事業への参画

#### 1. 「銀の馬車道～鉱石の道」が日本遺産に認定されました。

平成29年4月28日(金)、姫路市、朝来市、養父市、福崎町、市川町、神戸町の6市町が申請を行った、生野銀山を拠点とした「銀の馬車道」と「鉱石の道」を繋ぐストーリーが、文化庁から日本遺産として認定されました。



これを受け、新たに「日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会」が組織され、当金庫理事長が副会長に選任されました。

当金庫は、この協議会に参画し、地域活性化の推進に向け、各種事業の具体的な遂行に取り組んでいます。

### ● 「世界遺産姫路城マラソン2018」に協賛、370名の職員がボランティアやランナーとして参加させていただきました。



「世界遺産姫路城マラソン2018」が平成30年2月11日(日)に開催され、11,460人のランナーが姫路のまちを力走しました。

当金庫の役職員有志329名が会場への案内、手荷物お預かり係、ファンラン招集係、東御屋敷ランナーサービス(たまねぎスープの提供)、給水所、走路員などのお手伝いをさせていただきました。ランナーとしても41名が参加しました。

また、「姫路城マラソン祭」では、中播磨県民センター、姫路市商工会、生野町観光協会、神河町商工会、神河町観光協会、市川町商工会、福崎町商工会、養父市観光協会と連携して、会場を訪れた方々へ姫路から朝来市生野銀山までの「銀の馬車道」および生野銀山から神子畑・明延・中瀬の鉱石に至る「鉱石の道」沿線の観光名所などをPRするとともに、地域の特産品の販売をお手伝いしました。

#### 2. 兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携協力に関する協定締結について

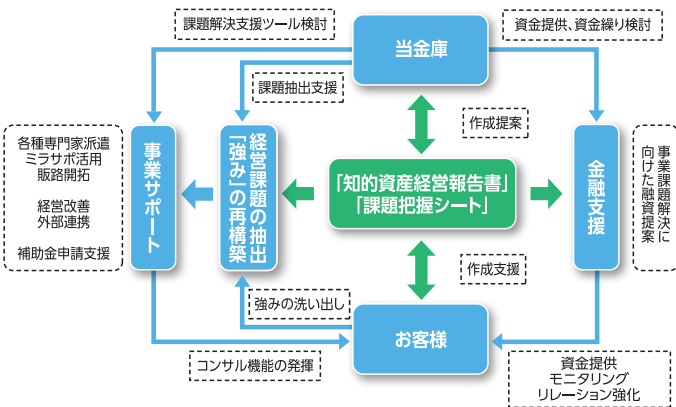


平成29年11月20日(月)、兵庫大学・兵庫大学短期大学部(加古川市平岡町、学長 河野 真 氏)と当金庫は、情報及び人的情報資源等を有機的に活用し、地域社会の発展と産業の振興に資することを目的に、連携協定を締結しました。

## ■ 中小企業の経営支援について

### ● 「課題解決型経営」への支援体制

当金庫は、「知的資産経営報告書」の作成支援や当金庫独自のお取引先の事業所内容把握のためのヒアリングシートである「課題把握シート」の作成を通じて、お客様の事業の強みと経営課題の抽出を行い、外部機関・外部専門家とも連携しつつ、ビジネスマッチングや販路拡大等の事業サポート、金融支援による課題解決のお手伝いをしています。



#### 事業サポートと外部専門家・外部機関

経営改善支援、事業再生支援	「知的資産経営報告書」作成支援	「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」の活用	販路開拓	専門家派遣制度
中小企業再生支援協会 公認会計士、税理士等	中小企業診断士(公財)ひょうご産業活性化センター	(公財)ひょうご産業活性化センター	兵庫県信用金庫協会 川上・川下ビジネスネットワーク事業 大阪府ものづくりB2Bネットワーク(公財)大阪市都市型産業振興センター(産創館)中小企業振興プロジェクト	「ミラサボ」(中小企業庁)(公財)新産業創造研究機構 知財総合支援窓口(特許庁)(公財)ひょうご産業活性化センター

### ● 知的資産経営支援

当金庫は、平成21年度から「知的資産経営」支援への取組みに努めています。

「知的資産」とは、バランスシートに記載されている資産以外の、形や計数で表すことができない資産(経営理念・人材・技術力・組織力・ネットワークなど)を指しており、これらを自社の強みとして経営者と社員が共有し、経営資源として有効に活用することにより自社の価値向上に結び付けることを「知的資産経営」といいます。

また、当金庫職員が自ら「知的資産経営」支援を行うスキルを身につけ、取引先の本業支援に向けた「企業を見る目」を養成するために、「報告書・経営レポート作成支援実践研修」を継続的に開催しています。



【知的資産経営支援セミナー】お客様を「知的資産経営」にナビゲートするセミナー。取組開始以来9年間で919社が参加。和田山・福崎・姫路・加古川の各会場で開催しました。



【知的資産経営レポート作成セミナー】「知的資産経営報告書」の高易版である「知的資産経営レポート」の作成を支援するセミナーを3回コースで開催。セミナーと同じ和田山・福崎・姫路・加古川で開催しました。

「知的資産経営報告書」の活用やブラッシュアップについても、外部機関等と連携しながらバックアップしています。



【知的資産経営報告書作成支援】本格的な「知的資産経営報告書」の作成も、専門家と協力し、個別に支援します。